

能勢 妙見山 (660m)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2021 年 9 月 21 日(火)

(メンバー) ----- 計 5 名

※(行 程) [予定]

※(行 程) [結果]

(往路---車移動)

○岩出図書館 (出発) 6:30
○能勢電鉄 妙見口駅 (到着) 8:40

(山行).

(登り 初谷溪谷コース)

① 能勢電鉄 妙見口駅----- 9:00
② 奥橋 ----- 9:30
③ 最初の沢渡り ----- 10:20
④ 初谷出合 ----- 11:30
⑤ 妙見山 ----- 12:30

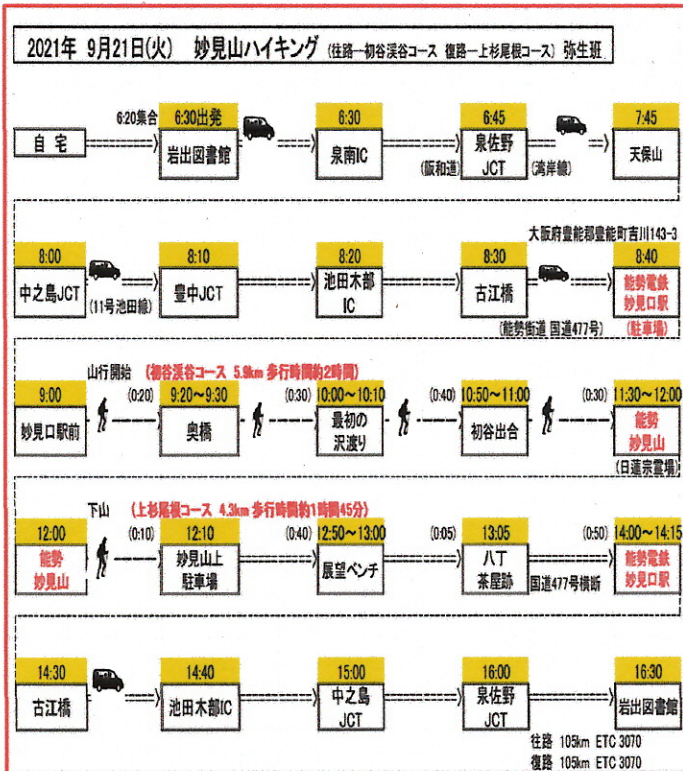
(昼食)

(下り 上杉尾根コース)

⑥ 頂上駐車場 ----- 13:15
⑦ 展望ベンチ ----- 13:40
⑧ 八丁茶屋跡 ----- 13:50
⑨ 能勢電鉄 妙見口駅----- 14:40

(帰路---車移動)

○能勢電鉄 妙見口駅 (出発) 14:50
○岩出図書 (到着) 17:00



(能勢妙見山のロードマップ)

※[はじめに]

(能勢妙見山)

※大阪府能勢町と兵庫県川西市に属し、山頂部に北極星を信仰する妙見宮がある。

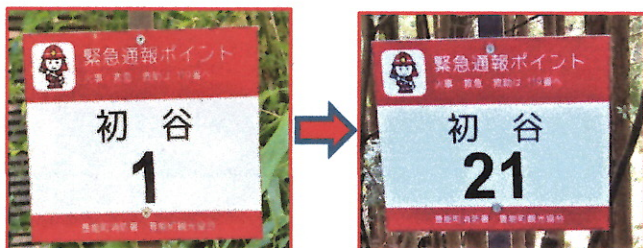
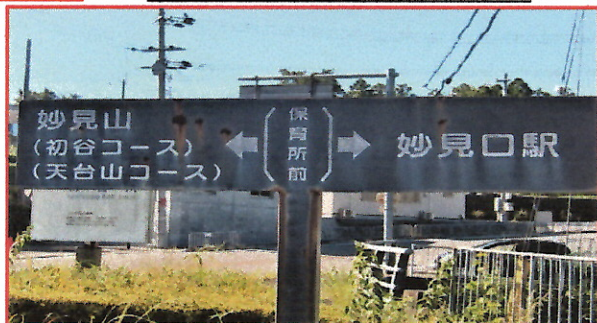
※山頂へは、5ルート(①大堂越、②新滝道、③上杉尾根、④初谷溪谷)のコースがあり、それぞれ変化に富んだハイキングが楽しめる。

※今回は、登りは「初谷溪谷コース」で沢渡りを、下りは「上杉尾根コース」で、妙見山の里山風景を楽しみました。

(写真1) (9:00 出発 妙見口駅)

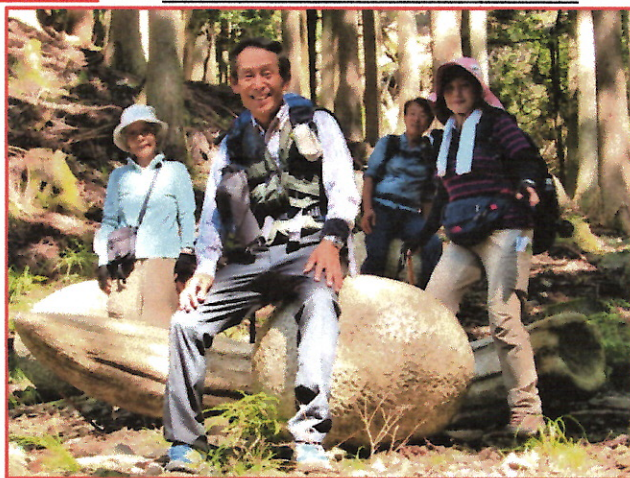


(写真2) (登りは、初谷溪谷コース)



・初谷コースは1から21のポイントがある

(写真5) (途中にあったモニュメント)



・恐竜の卵と牙を芸術家が作成し、休憩の憩いの場として設置したらしい。

(写真3) (山行開始)



・民家や田んぼ道を歩いて20分、ここから山道となる。

(写真6) (沢渡り-その1)



・初谷コースの特徴である沢渡り。この後、右に左にと沢を飛んだり、水を蹴とばし、進んでいく。

(写真4) (サワガニ発見)



・初谷川でサワガニを見つけた。よく見ると、ヘビを捕まえて食べていた。

(写真7) (沢渡り-その2)



・おっとと…… 緊張感が緩むと滑ります。弥生班の男性が、エスコートします。

(写真 8)

(急 登)



・小休止を取りながら急登を頑張ってま～す…

(写真 9)

(11:30 初谷出合)



・予定より 30 分遅れで初谷出合を通過

(写真 11)

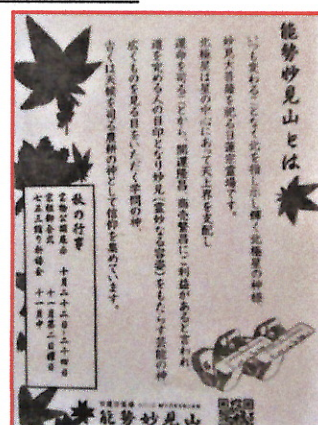
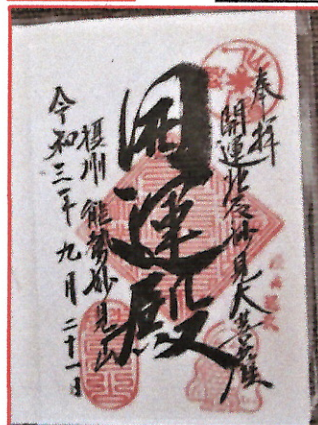
(妙見宮に到着)



・門前の屋根の十字は、北極星を表しているとのこと。

(写真 12)

(妙見宮の御朱印)



(写真 10)

(妙見宮の鳥居)



(写真 13)

(妙見宮の境内から)



(写真 14) (12:00 境内でランチタイム)



・ 先ずは汗を吹き飛ばし、乾〜杯。

(写真 15) (12:30 妙見山の三角点)



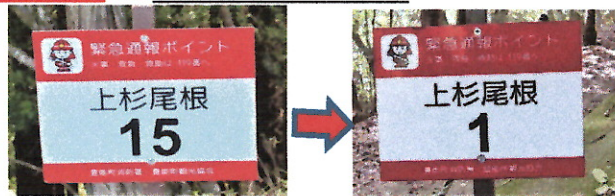
(写真 16) (「北極星信仰の聖地」モダンな建造物)



(写真 17) (境内を散策し、下山へ)



(写真 18) (下山のポイント)



・ 下山の上杉尾根コースは 15 のポイント

(写真 19) (笑顔で無事下山)



(写真 20) (麓の長閑な風景)



・ 近くに「日本一の里山」の看板があった。

[最後に]

- ※・今回は、急遽、能勢妙見山を計画したが、計画通り余裕のある山行ができた。
- ・「初谷溪谷コース」は、浅い沢渡りが多く、右へ左へと沢を渡る面白さがあった。ただし、苔岩や濡れた石を踏み台に渡るが、滑り尻もちをついた場面があった。
- ・最初の内は緊張感をもって渡っていたが、数回渡り慣れた頃、滑った。慣れた行動でも常に緊張感をもって行動することが大事であると反省する。
- ・次回の計画の打ち合わせをして解散。次回も楽しみだ!!